

NEXCO東日本の営業概要 ～営業延長は3,943km、建設延長は85km～

1. 営業の状況

(1) 通行台数、料金収入の状況(第1四半期累計)

	第1四半期累計	対前年比	対前々年比
通行台数(千台・日平均)	2,679	123.0%	90.1%
料金収入(百万円・税抜)※	178,859	126.1%	87.0%

※参考値(速報)のため、料金収入の確定値とは一致しない可能性があります

(2) 車種別の走行台キロ(第1四半期累計)

	対前年同期比					
	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
第1四半期累計	133.8%	133.6%	107.9%	107.9%	117.2%	125.2%
(対前々年比)	(79.8%)	(73.6%)	(93.8%)	(97.5%)	(77.4%)	(79.3%)

※高速自動車国道のみ

2. ETCの利用状況

ETC利用率(6月)	ETC2.0利用率(5月)
92.0%	26.8%

【関東地区 主要本線料金所及び路線のETC利用率】

関越道:新座94.5%、東北道:浦和96.0%、常磐道:三郷95.4%、東関東道:習志野95.3%
東京湾アクアライン:98.3%、東京外環道95.6%

3. サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)の状況

(1) 営業施設のあるSA・PA

198カ所(SA:78、PA:120)

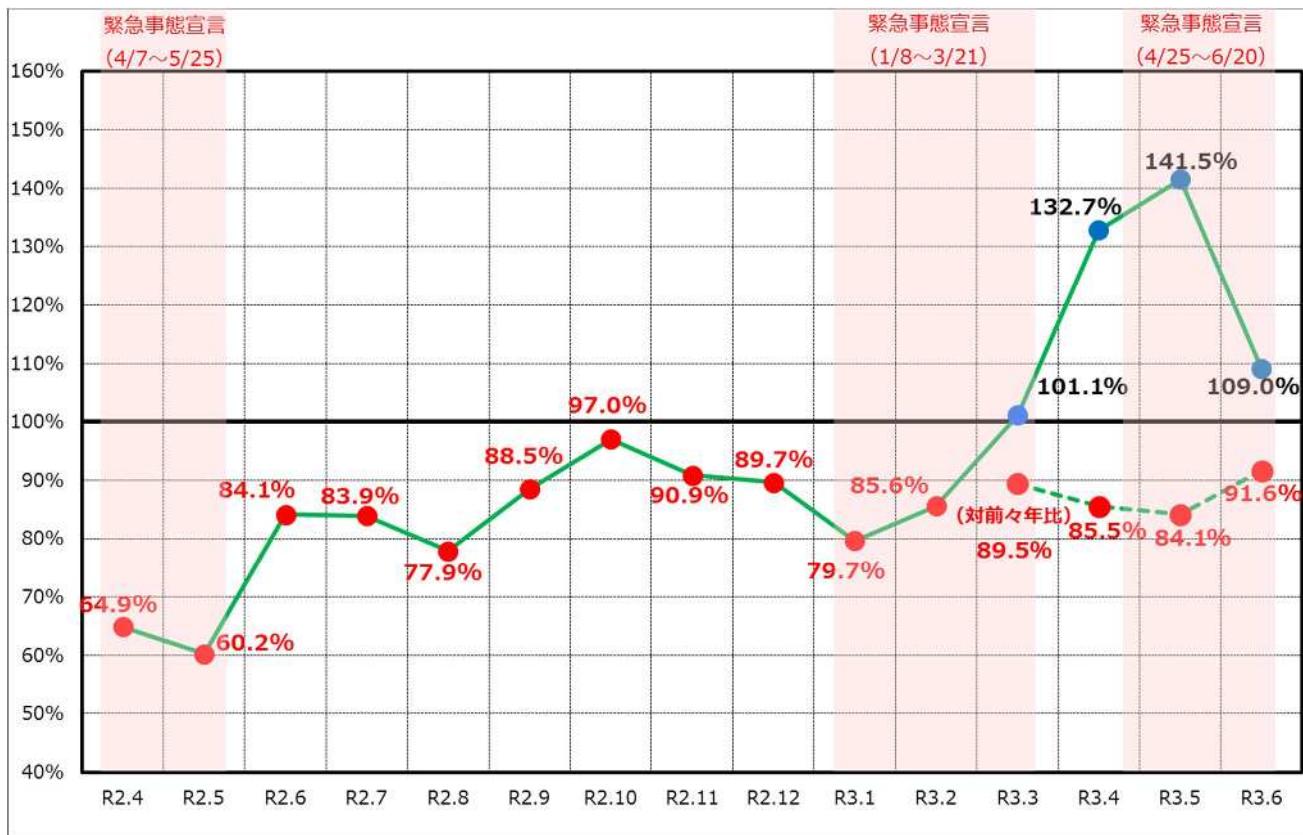
(2) 売上高(第4四半期累計及び年度累計、百万円)

項目	売上高 (第1四半期累計)			売上高 (令和3年度累計)		
	対前年比	対前々年比	対前年比	対前々年比	対前年比	対前々年比
飲食・物販	15,703	162.2%	60.8%	15,703	162.2%	60.8%
G S	12,241	145.3%	89.9%	12,241	145.3%	89.9%
合計	27,945	154.3%	70.8%	27,945	154.3%	70.8%

※端数処理の関係で合計が合わないことがあります

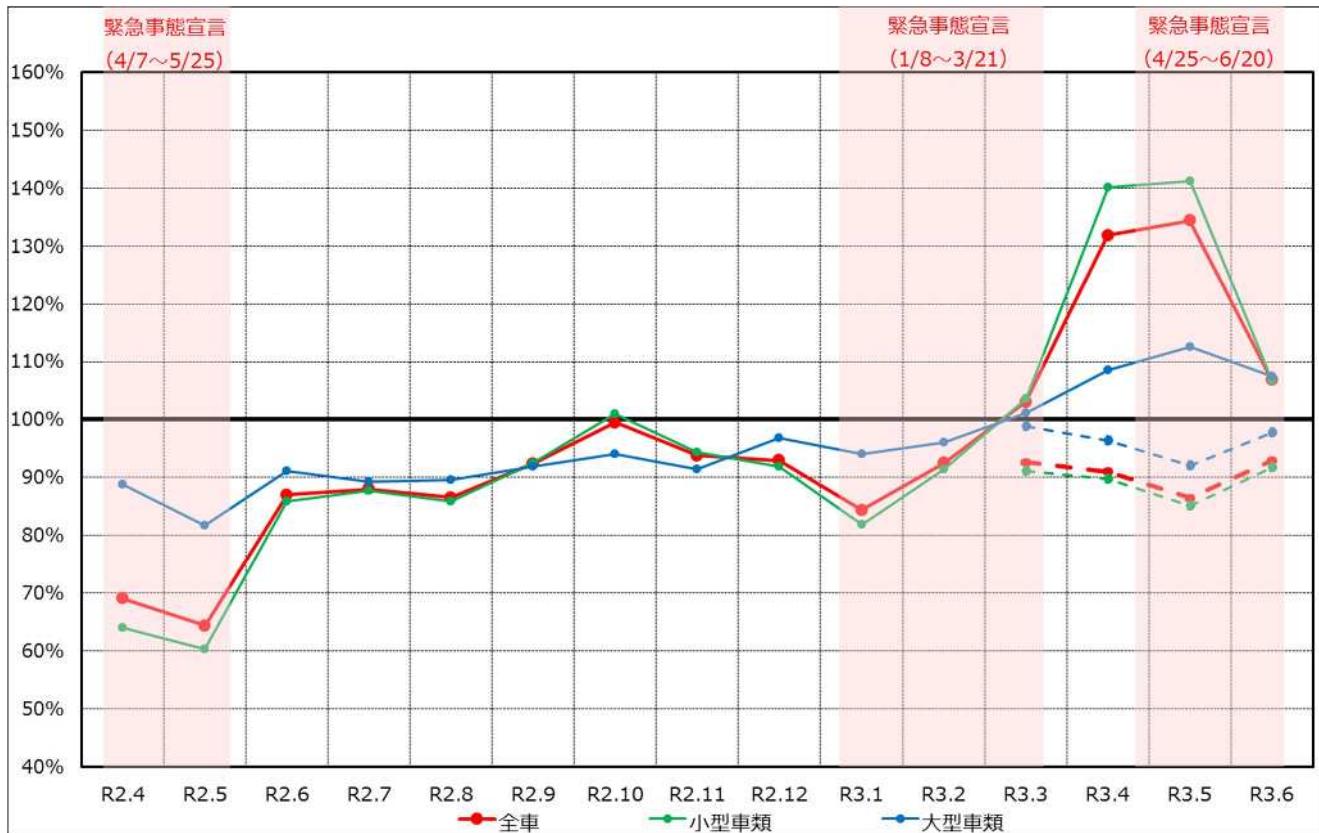
(参考)

○令和2年4月～令和3年6月における料金収入対前年比の推移(破線は対前々年比)



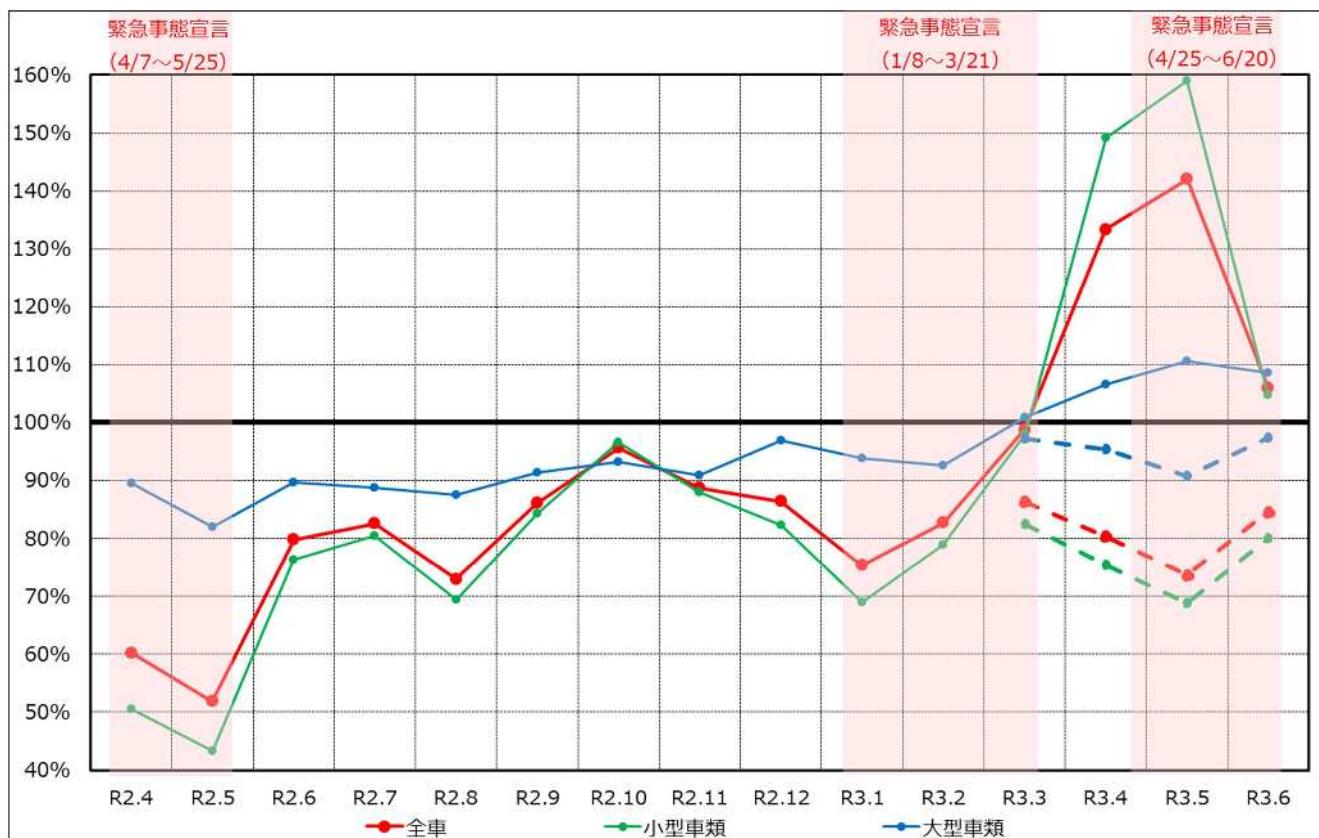
- ・R2年春の1回目の緊急事態宣言時に最も料金収入が減少し、前年の約6割となった。
- ・R2年夏以降持ち直すも、R3年1月の2度目の緊急事態宣言で再び減少。
- ・R3年3月以降は反動から対前年比が増加となるも、コロナ禍前の一昨年との比較では約8～9割で推移。

○月別通行台数対前年比の推移(破線は対前々年比)



○月別走行台キロ対前年比の推移(破線は対前々年比)

※高速自動車国道のみ



- ・感染者数の増加や緊急事態宣言の発令に伴い、主に小型車類が大きく減少する傾向。
- ・観光や帰省等による長距離のご利用が減少し、平均利用距離が短くなったことから、「通行台数」以上に「走行台キロ」の減少率が大きい傾向。